

平成17年度事業報告書

< 事業概要 >

新規事業

1. 名称変更

一般の皆様には協会のPRを主目的とし、9月1日より社団法人長野県建築設計事務所協会の新名称でスタートいたしました。支部旗作成、会員章ステッカーを全会員に発送、8月に関係団体に挨拶状の発送をして周知を致しました。

2. 30周年記念事業

30周年記念式典に見城美枝子氏をお招きして記念講演が行われました。貴重な経験談をお聞きする良い機会となりました。また、本会賛助会員のブースを設け、会員の方々にPRする場を提供いたしました。苗木プレゼント、建築作品の展示を行い会員のPRが出来たと思います。

3. 社会PR用パンフレット作成

情報委員会、社会貢献委員会を中心に社会PR用パンフレットを作成中です。

新年度より支部事務局をはじめ各支部のイベント活動、市町村窓口、金融機関などの公共の施設に配布し、一般の方々へ幅広くPRできるよう15,000部を印刷予定に進めております。

4. 会員作品集・インターネットコンペ

情報委員会、設計環境改善委員会を中心にHP上に会員作品集掲載をアップいたしました。建築作品を掲載することで、会員の資質向上や活動内容をアピールするとともに、一般市民やこれから建築を予定している方への参考などに役立ててもらうことを目的としています。

また、インターネットコンペは「コンペ長野君」という名称で体制が整ってまいりました。諸規定が理事会で承認されましたので建築作品集の充実をもって今年度は本格的にスタートしていく予定です。

5. 2005NBSeながのフェスタへの参加

NBS長野放送主催の「NBSeながのフェスタ - 環境・健康・防災 - 」のテーマで開催されたイベントに防災ゾーン内にブース出展をいたしました。新潟中越地震のパネル紹介、住宅無料相談、耐震診断判定特別委員の新井典夫氏のとうかい事業に関する講習会が行われました。防災について関心が高いことで講習会には多くの方々が参加し、事業に対して理解を深めていただけたと思います。

6. 講習会・見学会

(1) CPD制度調査研究・立上

社会の変化と価値の多様化に伴い、建築士事務所に求められる事業能力も多様化し、変容を余儀なくされています。このような状況のもとで、建築士事務所の業務を遂行する上で必要とされる資質の向上、情報を公開し、雇用及び社会からの信頼を高めることを目的とした研修制度です。

また、他団体主催の講習会等の認定についても検討していきたいと考えています。本年は本制度を施行するために三会合同会議（建築士会・JIA）を開催しCPDブックの作成等を進めています。

(2) アスベスト講習会

昨今、全国的にアスベストの健康被害が取りざたされています。今後建物を老朽化による解体工事が増加することが予想されている中、国のアスベスト障害予防規則の規定に伴い県では独自の対策がなされ、建築士会・JIA・防災協会の4団体で講習会が開催されました。

開催日：9月13日（松本） 参加者205名

9月14日（長野） 参加者206名

CPD：2単位

(3) 震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会 建築士事務所のマネジメント指針・同解説講習会

震災建築物の被災度区分判定及び復旧に伴う設計・工事監理を行う事の出来る建築士及びそれを業とする建築士事務所を育成することを目的に実施されました。受講修了者で希望する建築士に（財）日本建築防災協会より技術者証が発行され、技術者名簿にも掲載されます。今回は木造編での講習会でしたが前構造の講習会につきましては調整中です。

マネジメント指針では、社会の期待に応えるためのアプローチの一つとして建築士事務所に必要なマネジメントのミニマムガイドラインの内容を学びました。

開催日：3月15日（長野） 参加者：42名

3月16日（松本） 参加者：63名

CPD：3単位

その他の主な事業

1. 地域社会の建築文化活動等への積極的参加

(1) 建築相談調査業務

各支部より推薦いただいた調査者の皆様の出席で、7月から12月にかけて、3回の講習会を開催しました。出席者の方70名に「委嘱状」及び「建築相談調査者登録証」

を発行することが出来ました。また、講習会の折には(財)リフォーム・紛争処理支援センター発行の相談事例集冊子を印刷し、テキストとしました。

電話による相談受付は151件、そのうち調査し相談者に報告書が上げられたものは15件でした。

客観的に、正確な情報提供・解説をし、建築主・消費者の権利を守り、また、建築家としての職能意識を高め、社会に役立つ活動を展開していきたいと思ひます。

(2) 支部公益事業の実施

地域活動に積極的に参画していくことで、会員事務所が社会に認知されることを目的に、各支部の事業として継続して行っています。

全支部住宅に関する無料相談所を常設している他、地区のイベント等開催の際やホームページ上に相談コーナーを設けています。

また、地域の地盤図作成を進める支部や、歴史的建物や解体直前の旧家の調査研究も増えています。

支部それぞれが市民との交流を深める等、公益性の高い事業を行い、1支部あたり10万円の補助金を交付いたしました。

各支部の事業の詳細は「別表1」のとおりです。

(3) 第7回建築作品表彰実施

平成17年1月～3月までの間建築作品の募集を行った結果、9点の作品の応募がありました。

この作品は、建築作品表彰規定に基づき、4名で構成される建築作品選考委員会により作品選考が行われました。すべてが地域に根ざしたレベルの高い作品で、優秀賞2点が選考され、受賞者には優秀賞とパネル制作費が贈られました。

また、今年度は「創立30周年記念特別賞」を設け、表彰致しました。

優秀賞の2点は、さいたま市で行われました日事連の全国大会に出展され、奨励賞を受賞されました。

(4) 「軽井沢大賀ホール」見学会

平成17年度日事連建築賞国土交通大臣賞を受賞した軽井沢大賀ホールの見学会が開催されました。担当者より直接、説明・案内をしていただき、質問等することができました。会員をはじめ、関プロの単位会から多数の参加がありました。

また、次期を変えた完成間近の見学会、協会のPRのため一般の方々にも参加していただける見学会、講習会を検討したいと思ひます。

開催日：11月6日 参加者：111名

CPD：1単位

2. 建築士事務所のPR活動

(1) 建築士事務所のキャンペーン「安心住宅設計フェア」

消費者に対し、建築士事務所の業務と役割、協会の活動についてPRするために「第7回建築士事務所大キャンペーン」が日事連傘下の各県で開催されました。

当会では、中信ブロックの松筑支部が担当で、より多くの方々にご来場いただけるよう『2005 まつもと広域工業まつり』と同時開催しました。

「建築無料相談会」では耐震診断（すまいの安全 とうかい防止対策事業）に重点をおき、アスベスト対策の資料配布もしました。

セミナーとしては、第1部住宅セミナー「安心して家を建てるには」と第2部地震セミナー「地震予知に挑む e-Pisco の取り組み」の2講演行いました。

PR方法は、チラシの配布、信濃毎日新聞・市民タイムスへの広告掲載と記事要請、信越放送で22回（15秒）のスポット放送を行いました。

また、日事連からキャンペーンの助成金として60万円が交付されました。

詳細は <別掲1> のとおりです。

総延来場者数 30,000人

- ・内セミナー参加者 72人
- ・内建築無料相談会参加者 7人
- ・内上記以外のイベント等の参加者 2,000人

(2) TVスポットの活用

情報委員会で作成したPR用の15秒のTVスポットは、「建築士事務所のキャンペーン」を盛り込んで信越時放送で22本放映され、支部公益事業のPR等に活用しました。

3. 大臣・知事指定『建築士事務所の管理講習会』及び

建築士法第27条の2指定法人による『開設者研修会』の開催

平成17年度は、9月初旬から長野・佐久・伊那・松本の4会場で開催しました。管理講習会の受講該当者数803事務所に対し、594名の受講があり、受講率74%でした。また、開設者研修会（管理建築士ではない開設者）は21名が受講しました。

今年度、新規購入したプロジェクターを使用したナレーション映像を取り入れた講習会は大変好評でした。

この講習会は、昭和55年を第1回目とし、今日まで「建築士事務所の管理講習会」を通じて建築士事務所の開設者や管理建築士に対してその業務に係る知識・技能の向上に努めてきました。昭和61年に、長野県建築士事務所指導要綱が制定され、本会が実施している建築士事務所の管理講習会が知事指定の講習とされ、同講習の受講証明書が建築士事務所登録・更新の添付資料となりになりました。以降、平成17年までの間の受講者数の実績は14,034名になり、ほぼ趣旨にそった講習が実施できたものと考えます。

今後は、知事指定の継続と、時代にあった「建築士事務所のCPD制度」の施行が急がれています。事務所の研修成果などの状況を総合的に単位表示することによって、事務所としての“ガンバリ度”を社会に向けて表示するものです。

管理講習会の状況は「別表2」のとおりです。

4. 建築設計・工事監理等の業務報酬の適正化への活動

かねてより継続してきた建設省告示第1206号の適正運用の実施を市町村、公共団体の長・議会議長に対して要望または陳情を行いました。

実施にあたりましては、要望・陳情書とともにラミネート加工した「建築設計・監理・報酬基準」を資料として持参、説明し理解を求めました。

また、既に議会において採択されている市町村につきましては、会長の文書を持って採択どおりの実行を呼びかけました。

5. 耐震診断関係事業

(1) 耐震診断要望運動の実施

平成7年に発生した阪神淡路大震災を契機とする「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の施行に伴い、耐震診断及び耐震改修の重要性と同時に適格な技術と知識を持った技術者の確保が求められることから、当会は長野県等が主催した耐震診断・耐震改修講習会に会員多数を受講させ、さらに研修会を実施するなど技術の研鑽に努めてきました。また、建築構造専門家を構成員とする耐震診断判定特別委員会を設置し、ハイレベルの耐震診断判定業務が出来る態勢を整えました。

現在、市町村が発注する耐震診断業務の入札参加資格はすべての事務所に与えられていますが、当会の耐震診断員事務所や耐震診断飯地特別委員会を活用していただくよう、各地方事務所の建築課、市町村長、教育委員長、担当課長にたいして要望した。

また、今年度新に作成した当会の「震災時緊急対応組織表」を各市町村に配布し、震災発生時の対応を明確にしました。

(2) 耐震診断判定特別委員会の開催

当会の耐震診断判定特別委員会は、耐震診断内容聴取に係る診断内容の確認機関として、県内で唯一文部科学省より認知されています。

主に公共施設、特に小中学校の既存建築物で文部科学省の補助事業の物件についての判定会35回開催、96棟について行いました。

学校等の公共施設での建築は人命の保護確保に大きく影響するだけに大変重要です。そのため耐震診断判定業務は必要であり、専門家によるチェック体制がきわめて重要なことであると考えます。

また、この業務を通じて、社会に役立てるのも専門家である建築士事務所の役割であり、そういう意味からも公益法人である当会が力を入れて取り組んでまいりたいと考えます。

(3) 耐震診断判定特別委員会事前審査会の開催

各建築診断員事務所等より提出された報告書が、耐震診断判定特別委員会も提出されるが、その判定業務がスムーズに行えるよう、資料の不備等を事前にチェックする機関であり、現在は8名で構成されています。

近年、耐震診断業務は全県で行われ、申し込み物件数が増えています。委員は、当日の判定会に出席し、技術研鑽、資質向上に努めています。

(4) 木造住宅耐震診断事業

近い将来に発生すると考えられている東海地震から、県民の生命、財産を保護し、震災時の膨大な災害復興費用の削減を図ることを目的に、地震防災対策強化地域内における昭和56年以前の戸建木造住宅の耐震診断・耐震補強について『すまいの安全「とうかい」防止対策事業』を実施しています。建築士会、建築物防災協会、当会の3団体で構成する長野県木造住宅耐震診断推進協議会で市町村より受託し、平成14年度からの10ヵ年計画の事業です。

今年度は、精密診断1,540戸、簡易診断4,918戸、避難施設5戸で、県下34市町村で実施されました。

詳細は「別表3」のとおりです。

尚、18年度は県下全域での事業展開となり、診断棟数も1万件以上となる予定です。

6. 会員増強と基盤整備

県内の建築業界をとりまく経済状況は依然厳しい状態が続いています。

当会では、正会員8事務所の入会、そして35事務所の退会があり、期末の正会員数599事務所となりました。また、賛助会員数は入退会無しで11社のままでした。

詳細は「別表4」のとおりです。

7. ゴルフ大会の開催

第26回ゴルフ大会が、長野国際カントリークラブにおいて、平成17年10月17日開催されました。

結果は、次のとおりです。

団体戦：優勝	木曽支部	個人戦：優勝	田口 弘(木曽支部)
準優勝	上伊那支部	準優勝	原 幸男(上伊那支部)
3位	長野支部	3位	小倉 保文(木曽支部)

8. 図書の発行

会報「しなの」 130号~132号 各1,000部

会員、関係諸機関に配布

支部公益事業実施報告

支部名	事業と実施時間	実施方法	実施結果・その他
佐 久	住宅無料相談 インターネット設計コンペ	場 所：ホームページ上で相談受付 P R 方法：支部ホームページの周知 インターネットを接続して いない方には、事務局にて 資料配布	相談件数：耐震関係相談 4件 契約関係相談 1件 コンペ：申し込み0件 ・インターネット設計コンペ本会移行 にあたり、広告掲載等の周知を前年 度より控えた為申込は無かった。 ・設計コンペ・住宅相談の申込が増え るようユーザーへの周知方法がやは り今後の課題
上 小	住宅無料相談 建築士事務所協会の P R	場 所：H P 窓口 「住宅リフォーム相談会」 週刊上田主催（10/1～2） P R 方法：塩尻地区 P R 用ポスターを 地元自治体・市町村・関係 団体へ配布、公共施設へ掲 示（支部まちづくり委員会 作成）	相談件数：電話相談 3件 H P 相談 3件 イベント窓口 10件 ・ポスター作成は予想以上に好評で、 支部活動の P R 効果も大きかったと 推察される。 ・塩尻市地区の紹介という面において も、同地区の優れた町並み景観の認 知度普及に対する効果となり、景観 存在の一助となったと思う。
埴 科	身障者の住宅無料相談会	場 所：更埴ふれあい広場 千曲市主催 日 時：9月 11日 ・住宅の専門知識を提供し、社会貢献 ・耐震補強相談	相談件数：5件 住宅の間取りをパソコン入力し、揺 らして倒壊を目で確認、耐震補強で 倒壊は免れることを、3次元アニメ ーションで表現したことで、相談者 に耐震補強の必要性をよりリアルに 説明できた。またそのことで、相談 会が魅力ある事業となったと思う。
上伊那	住宅無料相談会	場 所：「みんなの生活展」 伊那市主催 日 時：10月 2日（日） 内 容：「住宅建築なんでも相談」 を行う。 ・当会の活動資料・住宅耐震に関する 資料取り揃え相談に応じる	・相談はあまり深刻なものではなかつ た。 ・興味のある方が資料を持ち帰り、業 者の紹介もできた。

飯 伊	すまいの無料出張相談	<p>日 時：11月 30日</p> <p>P R 方法：地元新聞社2社に、支部創立30周年の社会 P R を兼ねて掲載（10/29）申込を受けた。</p>	<p>相談件数：1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「既存住宅のリフォームするか建替えが妥当か」の相談に、2名で現地に出向いて対応 ・新聞掲載で、地元への支部 P R もできた。
木 曾	住宅相談会	<p>場 所：木曾福島町の文化祭</p> <p>日 時：10月 3日（日）</p> <p>P R 方法：地域の新聞広告掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造推進協議会との共催 ・パネル展示 ・リーフレットの配布 	<p>相談件数：3件</p> <p>内 容：リフォーム 耐震診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人が出入りする文化祭と併せて行い事務所協会を知ってもらえる機会ができた ・木曾福島町役場の職員の方にも参加助言していただき、有意義な活動ができました。
松 筑	松本市建築設計相談	<p>場 所：松本市役所 「市民相談コーナー」にて開催</p> <p>日 時：毎月1回（午後1時～3時）</p> <p>P R 方法：地元新聞へ“相談コーナー開催”の掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部協会員が2名にて対応 ・パンフレットと会員名簿の配布 	<p>相談件数：毎月0～1名</p> <p>内 容：苦情 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルや心配事の根拠を明確にし処理方法を話した ・問題点を説明し専門家や専門業者を紹介した
安曇野	<p>住宅相談</p> <p>社会 P R</p> <p>安曇野建築展</p>	<p>会 場：事務局</p> <p>日 時：通 年</p> <p>P R 方法：地方誌に掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口受付・電話対応し、後日会員が対応にあたる ・「市民タイムス」へ支部会員名簿の広告を掲載 ・「環境と生活」の特集記事掲載 <p>会 場：瑞穂町「山光ホール」</p> <p>日 時：3月 11・12日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築三会による合同開催 	<p>相談件数：3件（すべて電話にて対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々に広く事務所協会の事務や会員の P R ができた <p>来場数：195名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の作品のパネル展示 ・会員建築作品の模型展示 ・建築相談 ・地震体験車 ・木工体験コーナー

大 北	木造耐震診断・住宅相談	<p>日 時：10月 22日</p> <p>P R方法：J A 大北池田支所からの ダイレクトメールにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田町・松川町で実施されている木造住宅耐震診断の相談説明 ・建物に横揺れを作用させ実際の地震時のゆれを体験してもらう 	<p>相談件数：3件 耐震診断：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易耐震診断はもう少し期待していたが、来場が少なかった。 ・阪神淡路大震災のパネル展示には、多くの人が入っていた。 ・相談会への人集めの難しさを痛感した。多くの人が集る会場での開催が今後の課題
須 高	須高地区 歴史的建築物図面化事業	<p>場 所：須坂市常盤町</p> <p>2/23 旧長野保健所須坂支所の内外を測量（会員5名）</p> <p>2/24～図面化（会員が手分けにより）</p> <p>3/9 疑問点再調査（2名）</p> <p>3/中 図面完成</p> <p>3/末 関係者へ成果品贈呈 活用の一方法提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒風の中での測量、内外共改造度が大きく、復元調査は難航であった。（作業中須坂新聞社からの取材を受けた。） ・大正時代の洋風建築のディティールを勉強する事が出来た。 ・支部公益事業のP Rが出来た。 ・市民に本建築物の存在意義をP Rできた。
中 高	住宅無料相談 特別苦情相談	<p>場 所：支部事務所 H P窓口</p> <p>日 時：奇数月（第2水曜日計6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当係員1～2名で相談者宅を訪問し聞き取りによる相談を受け、目視による調査を行い、所見を述べた 	<ul style="list-style-type: none"> ・各相談員は内規を十分熟知読理解した上で相談を受けた <p>実 施：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者の意見をふまえて対応するも相談者は少し感情的（全て施工者側の不具合である）になる傾向がある。調査者はあくまで第三者的な立場で相談に対応することとする。
長 野	住宅無料相談所	<p>場 所：支部事務局</p> <p>日 時：通 年</p> <p>相談員数：27名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話受付後、面接相談、現場立会 	<p>相談件数：月平均2件</p> <p>内 容：設計図書の不明確 現場管理上のトラブル 施工の不適合 工期遅れの損害 中古住宅の性能評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの多くは、適当な解決策がないのが実情ではあるが、未然の防止策を考えたい。 ・設計事務所の役割・存在と、あわせて協会のP Rをする必要がある。

2 会議の開催状況

1. 主な会議

総 会	1 回
評議員会	1 回
理 事 会	6 回
会計監査	2 回
三 役 会	11 回
会計理事会	2 回

2. 委 員 会

総 務 委 員 会	4 回
建築作品先行委員会	1 回
C P D 研修委員会	5 回
設計環境改善委員会	3 回
社会貢献委員会	6 回
情報委員会	7 回
耐震診断委員会	2 回
判定特別委員会	35 回

各会議の開催日は省略

3 会議の内容

1. 第1回通常総会

開催日 平成 17 年 5 月 21 日 (土)
会 場 松本市 長野県松本文化会館
出席者 会員 626 名のうち出席 386 名 (内委任状出席 293 名)
議 題 平成 16 年度事業報告について
平成 16 年度収支計算書、貸借対照表について
平成 17 年度事業計画 (案) について
平成 17 年度収支予算書 (案) について
定款の一部変更 (案) について

2. 第1回評議員会

開催日 平成 17 年度 5 月 11 日 (水)
会 場 松本市 ホテルブエナビスタ
出席者 評議員 20 名のうち 出席 20 名 (内委任状出席 12 名)
議 題 平成 16 年度事業報告について
平成 16 年度収支決算書、貸借対照表について
平成 17 年度事業計画 (案) について
平成 17 年度収支予算書 (案) について
定款の一部変更 (案) について
定款第 21 条第 2 項による顧問の委嘱
第 30 回通常総会について

3. 第1回理事会

開催日 平成 17 年 4 月 20 日 (水)
会 場 長野市 ホテル国際 21
出席者 理事総数 25 名 全員出席
議 題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
後援・協賛報告
常任役員会運営規程 (案) の制定
執行委員会運営規程 (案) の制定
長野県建築士事務所協会運営規程の一文変更 (案)
役員候補並びに評議員候補の推薦に関する選出要項の変更 (案)
第 30 回通常総会に付議すべき事項
定款第 21 条による顧問・参与等の委嘱
建築作品の表彰結果
第 7 回建築士事務所キャンペーンの開催地区
第 1 回評議員会の開催

物故会員

4. 第2回理事会

開催日 平成 16 年 6 月 15 日 (水)
会場 長野市 ホテル国際 21
出席者 理事総数 25 名 全員出席
議題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
後援・協賛報告
平成 17 年度事業の実施
第 30 回全国大会参加
管理講習会
装備証明
建築士事務所 C P D 制度

5. 第3回理事会

開催日 平成 17 年 8 月 4 日 (木)
会場 箕輪町 伊那プリンスホテル
出席者 理事総数 25 名のうち 出席 24 名
議題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
会員の入会承認について
耐震診断判定特別委員会委員の追加承認
アスベスト問題への対応
会員外理事候補者の業種別リスト (案)
建築相談調査業務
管理講習会、開設者研修会
建築士事務所キャンペーンの実施計画
インターネットコンペ
建築設計・監理 報酬基準
すまいの安全「とうかい」防止対策事業

6. 第4回理事会

開催日 平成 17 年 10 月 4 日 (火)
会場 松本市 ホテルブエナビスタ
出席者 理事総数 25 名のうち 全員出席
議題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
会員の入会承認について
建築士事務所 C P D 制度

建築見学会
コンペ長野君
建築設計・監理 報酬基準
事務所協会の広報（社会PR）
建築士事務所キャンペーン
レンタルサーバー
ゴルフ大会開催
会費の検討
会員外理事候補者の推薦
役員等の改選スケジュール
会員章
震災時緊急対応組織表

7. 第5回理事会

開催日 平成 17 年 12 月 11 日（日）
会 場 佐久市 ウェルサンピア佐久
出席者 理事総数 25 名のうち 出席 23 名
議 題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
委員会委員の一部変更
継続能力研修制度要綱（案）制度
評議員会の定数
委員外理事候補者・会員理事
平成 18 年度建築作品募集
第 31 回通常総会の開催日程
耐震強度偽造問題に係る相談窓口の開設

8. 第6回理事会

開催日 平成 18 年 2 月 17 日（金）
会 場 長野市 ホテル国際 21
出席者 理事総数 25 名 全員出席
議 題 会務報告・委員会報告・日事連等報告
行政関係報告
後援・協賛報告
賛助会員の入会承認
上期会計監査の承認
平成 17 年度予算の補正承認
支部名称の変更認証
耐震診断判定特別委員会要綱の一部変更
耐震診断判定特別委員会委員の追加承認

平成 18 年建築作品募集
講習会の開催
支部旗の作成
建築相談調査者の登録証発行